2019年度NPO法人愛実の会事業報告　法人概況

1．実施事業の概略

特定非営利活動法人愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しつつより良いサポートを目指している。

そのために下記のような事業を行い、実施した。

① 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業。

② 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業。

③ 障害者総合支援法の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業。

2．事業の実施に関する事項

①特定非営利活動に係る事業

(1)生活介護事業について

契約メンバー数　29名(2020年3月31日現在)1日平均14.2名の利用(定員20人)

2つの部署(大地の家16名・紙風船13名)、はそれぞれの特徴を生かしながら充実した活動を行ってきた。
年明けからは新型コロナウイルスの感染拡大により、外出の自粛、イベントの中止等活動にも制限が生じた。
一方、部署間の協力体制を組み、相互に応援できるかたちを取ることができた。

詳細については各部署報告参照。

(2)居宅介護・重度訪問介護及び移動支援事業について

ホームヘルプとして(朝・夕の介助、入浴、通院、入院時、外出支援、家事等)を行い、24時間安心できる地域生活の支援を行った。2018年度月平均100件→2019年度月平均144件
名古屋市の移動支援事業は、通学及び通所時の付き添いを行った。2件73回
医療的ケアの必要性に対して喀痰吸引等の事業所登録を行い、体制の強化に努めた。

(3)独自サービス事業について

緊急時の対応以外に利用の範囲を広げたことで利用件数が増加した。113件→188件
主なサービス内容(デイサービスの延長:朝・夕、入院時付添い、通院・外出時の車移動)

②アシスタント体制について

●新規採用名(正職員1名、アルバイト5名)、退職者名(正職員1名、アルバイト5名)

●アシスタント総数40名(2020年3月31日現在)

○正職員アシスタント14名:生活支援員9名、生活介護管理者1名、サービス管理責任者1名、サービス提供責任者1名、調理員1名、休職1名

○嘱託アシスタント 2名:生活支援員1名、居宅介護管理者1名

○パートアシスタント1名:生活支援員1名

○アルバイトアシスタント22名:生活支援員9名、看護師1名、送迎運転手5名、清掃員1名、調理員3名、リトミック講師1名、登録ヘルパー2名

○嘱託医1名

③研修について

●法人全体研修会　4月28日(日)　場所:障がい者デイセンター愛実　講師:株式会社経営支援　志賀 弘幸氏

○『福祉施設における働き方改革の取り組みとより良い施設づくりにむけて』　　参加20名

○『愛実の会の現状把握と今後のビジョンについて』
○講演と質疑応答

●部門別研修　2020年3月8日　場所:障がい者デイセンター愛実
講師:特定非営利活動法人ひろがり 丹羽陽一氏
『ふれあい体操から静的弛緩誘導法の効果について』　　参加16名

④福利厚生について

●健康診断、インフルエンザ予防接種助成、セルフケア助成、腰痛ベルト購入助成
●正職員アシスタントに対する福利厚生センター(ソウェルクラブ)への加入継続

⑤実習生・見学等の受け入れについて

●特別支援学校からの実習を積極的に受け入れ、見学については随時受け入れた。

⑥ボランティア等の受け入れについて

●南山幼稚園ミュージックベル、ホールイベント、紙風船サークル活動、人形劇公演、交流会等

3. 会議の開催に関する事項

①総会

●通常総会　2019年5月18日(土)　決算及び予算　法人・各部署の事業報告および事業計画
●臨時総会　2020年3月21日(土)　役員改選、役員報酬規程変更に関する件　　中止

②理事会

●第1回理事会　2019年 5月18日（土）　議題:通常総会議案に関する件等
●第2回理事会　2019年10月17日（木）　議題:理事の補充および新理事長選出の件等
●第3回理事会　2019年11月11日（月）　議題:理事会の新構成の件等
●第4回理事会　2020年 2月29日（土）　議題:決算見込み報告、人事異動の件等

③定例会

●2019年9月14日(土)「シェアハウス構想の具体化に向けて」
●2020年1月18日(土)　シェアハウス今後の方向性及び来年度の新理事会体制について

④その他の会議

●運営会議(毎月第1・3火曜)、シフト会議(必要に応じて実施)、各部門別＆ケース会議、防災会議(随時)実施

4. 寄付等について

●寄付金の指定　①寄付金　②夢づくり　目標額380万→寄付金総額2,976,915円
（主な使途:①福祉車両の購入、アシスタント体制の充実　②紙風船人形劇の製作費用として使用）
認定NPO基準:PST(3000円以上の寄付者)＝190名　合計240件の寄付を頂きました。

●日本財団より福祉車両助成金　2,550,000円　車両購入の3/4を助成

●法人正会員の状況
2020年3月31日現在46名
（内訳:メンバー家族24名　アシスタント17名　協力者2名　理事3名）

5. 2019年度会計の状況

●予算115,254,150円 に対して決算118,216,420 円　経常利益:6,779,909円　法人税:71,000円
決算書参照

2019年度 生活介護：大地の家事業報告

事業概要

事業期間	2019.4.1-2020.3.31
当事業年度テーマ	メンバーの思い、気持ちを汲み取り、寄り添えるような関係作りを目指す。 そのために、ただ横に寄り添うだけではなく、メンバーの視線に立ち、メンバーにとって何が必要であるかを模索していく。 アシスタントの思いが優先されるデイケアではなく、メンバーにとってのデイケアを念頭に、メンバーとのかかわりを大切にしていきたい。 「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や日常の活動に季節を感じられるような取り組みを計画しつつ、外での活動も行っていく。

	計画項目	振り返り
2019年度活動計画の振り返り	少人数活動	2019年度は、主に「マイタイム」という形で少人数活動を行った。 大地の家の部屋では賑やかに、活発に大人数で活動をすることとしていた。一方で、愛実友だちの家の部屋では少人数で密の濃い関りをしようとしていた。 しかしながら、主にマイタイムの活動でしか少人数活動ができておらず、メンバー一人当たり月に1度の時間となってしまった。 次年度においては、少人数活動の取り組みをより多く設けたいと考えている。
	イエローレシート	イオンスタイル名古屋茶屋店にて参加した。年間を通して5回店頭での活動を実施し、35,900円相当のギフトカードを頂戴した。 土日祝日に11日が重なったり、人的体制が取れなかったり、ということで毎月の参加が難しかった。 大地の家のメンバーが外の社会と関わる貴重な機会であり、参加することを大事にしたいと考えている。 人的体制による不参加を解消できるかどうか、検討していきたい。
	音楽活動	ミュージックケア、アシスタント独自の活動、外部講師によるリトミックなど、音楽に触れる機会や活動を大事に行ってきた。 当初は多種多様であった音楽活動も、徐々に少なくなり、定期的に実施したのはリトミックとミュージックケアのみとなってしまった。 音楽活動がメンバーに与える刺激や、楽しさ、音楽によってメンバーの自発的な表現を引き出す力に重点を置き、今後も多くの活動ができるようにしたいと思う。

	活動名	活動内容
日常活動の振り返り	ふれあい体操	午後の休憩時間後にアシスタントの体制が取れるときに（マンツーマンになるときに）のみ実施していた。 年度末にふれあい体操講習会を受講し、手技の習得のみならず、ふれあい体操に対する認識が深まり、重要性も認知した。次年度は毎日の活動の一つとしてとらえ、継続的に実施したい。
	壁画作り天井飾り作り	季節感を活動に取り入れることを目的として、毎月壁画作りを行ってきた。 工作の苦手なメンバーが多い中で、メンバーがどのように関わり、どんなテーマにするか、毎月試行錯誤を繰り返してきた。 また、視線が上を向きがちなメンバーがいること、天井の大きな空間ががらんとしていることなどから、今年度は新たな取り組みとして、天井飾りを製作することとなった。 初の試みではあったが、2か月に1度のペースで実施した。毎回趣向を凝らし、その時々の季節をモチーフにした作品が製作された。 空調により飾りが大きく揺れたり、角度が変わって見せる表情が変わると、それを見ているメンバーもニコニコと笑っていることが多々あった。今後も継続して取り組む。
	茂吉さんのプログラム	口唇周辺や口腔内を刺激し、咀嚼と嚥下活動を潤滑に行うことができように誘導することを目的として実施した。 多くのメンバーが取り組みを行うと、嚥下状態が良くなったように感じることがあり、今後も月に1度のペースで実施したい。

	リトミック	年度途中で講師体制に変更があり、2名体制で行っていたものが1名体制で行うこととなった。 講師からも1名体制での実施が可能だと承諾をいただき、継続して実施している。 外部から講師を招き実践をしていただくことは、メンバーにとってもアシスタントにとっても大きな刺激となった。

年間外出一覧（実施済み）

月次	具体的内容
4	花見＠白鳥公園
5	花フェスタ記念公園バラ祭り花見＠可児
6	デンパーク＠安城
7	各務原航空宇宙博物館
9	アクアトトぎふ
10	陶芸体験（出張陶芸体験を依頼）
10	遠足＠赤沢自然休養林(長野県上松町)/ちこり村(岐阜県中津川市)
11	岡崎市美術博物館(ランチ)＆岡崎東公園(動物ふれあい体験)
11	名フィル「夢いっぱいの特等席」福祉コンサート(白鳥国際会議場)
6.7.9.10.11	イエローレシートキャンペーン（イオンモール名古屋茶屋にて）

●12月に予定していた、紅葉狩り＠東山動植物園は紅葉のピークとタイミングが合わず、不実施となった
●2月に予定していた、掛川花鳥園(静岡県)は人的体制が整わず、不実施となった
●3月に予定していた、徳川園ひなまつり(東区)は新型コロナウイルス感染症の影響により、不実施となった

障がい者デイセンター愛実(生活介護)として、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、2020年2月21日より、全ての外出活動を中止することとなった。
当初予定では、2020年3月末までの措置であったが、感染症の収束目処が立たず、当面の間中止することとなっている。

活動総括

2019年度は年度当初にメンバー1名が入所に移行された（2019.5）。
一方で、12月より長年在宅で生活されていたメンバーを迎え入れることとなった(5日/週)。
またアシスタント体制においては、前年度に退職したアシスタントの補充がままならなかったり、育児休業中のアシスタントもおり、人手に余裕があるというわけではなかった。
しかしながら、11月末を以て退職するアシスタントもおり、年度下半期は人的体制に全く余裕が無くなってしまった。

そのような状況下にあっても、「メンバーの視点に立つ」ということを決して疎かにしないよう取り組みを行ってきた。
メンバーの状況に応じできることを、メンバーの視点に立ち興味の持てることを、それぞれ活動の中心に据えて実践した。
また、声掛けだけでなく、視覚にも訴えかけ、認識できるようにアプローチを行った。
人的体制に余裕が無くなるにつれ、疲弊しつつあったが、多くのアシスタントが協力関係を築くよう努力してきた。
自分が担当しているメンバーをサポートしつつも、他のアシスタントが担当しているメンバーに対しても多くの働きかけを行うよう意識していた。

決してすべてが完璧にできた、常にそのようなことを意識して取り組めた、とは言い難い。休日出勤を多くせざるを得なかったアシスタントもいた。
厳しい環境ではあったが、アシスタント間の協力があってこそ乗り越えることのできた1年だったと思う。

厳しい体制であることが、なるべくメンバーの心情に影響しないよう意識してきたが、少なからず影響があったのではないかと感じている。
余裕のない中でも、じっくりと向き合う環境作りを行い、メンバーに寄り添うことの意味を今後も追求したいと思う。

2019年度　生活介護：紙風船事業報告

計画概要

事業期間	2019.4.1～2020.3.31			
当事業年度 テーマ	①楽しく元気に出かけよう　②ふれあいつながり大切に　③心からの笑顔を広げよう			
	・活動を「人形劇活動」「宣伝活動」「グッズ活動」の3つに分け、メンバーそれぞれが力を入れたいと思う係に分かれて活動しました。 ・年度の途中で、「人形劇活動」については全員でかかわった方が良いのでは？という意見があり、人形劇に関する活動は全員で考えていくことになりました。 ・公演先等では人々とのつながりを大切に考えてコミュニケーションをとりました。			
人形劇 活動計画		内容		
	人形劇講座	人形技術家おばらしげる先生による演技指導、人形劇講座等　月1実施		
	人形劇練習	前半はボーちゃんシリーズの新作、後半は新しい作品に取り組み始めました。		
	ボランティア	特に老人施設でのへの慰問公演を多く行うことができました。		
人形劇公演実績	5月	11日(土)おおぶ文化交流の杜 「ボーちゃん」	9月	23日(月・祝)ひまわりホール 子どもアートフェスティバル 「ポンタとたっくん」
	6月	25日(火)ラベンダーお誕生日会 ボランティア公演 「パフォーマンス」		28日(土)堀川伝道所 「ボーちゃん」
	7月	2日(火)農村伝道神学校 「ボーちゃん」	10日	24日(木)花の木デイサロンさつき ボランティア公演 「ボーちゃん」
		6日(土)GOふくし ブース出展	11月	9日(土)長久手社福祉の家 「ボーちゃん」
		16日(火)柳城短大付属豊田幼稚園 「ボーちゃん」		17日(日)愛知手話通訳問題研究会 「ボーちゃん」
		25日(火)名古屋市緑寿荘 ボランティア公演 「ボーちゃん」	12月	15日(日)　紙風船クリスマス会 「ボーちゃん」
	8月	北なごやパペットフェスタ観劇 →中止	1月	13日(月・祝)日本基督教団岡崎教会 「ボーちゃん」
		28日(水)デイサービス千音寺 ボランティア公演 「パフォーマンス」	2月	16日(日)日本基督教団豊明教会 「ボーちゃん」
			3月	15日(日)　地域ふれあいまつり 「ボーちゃん」→中止
外出活動	実施月	内容		
	参加可能月	毎月11日　イエローレシート呼びかけ…2019年度は3回参加		
	4月	各曜日毎に白鳥公演まで出かけました。		
	6月、11月	ご家族様への活動報告会を実施		
	レク	決行月日　行先		
	6/12(水)　ミツカンミュージアム	7/18(木)　INAXミュージアム	9/19(木)　浜松楽器博物館	
	10/31(木)　あいち航空ミュージアム	11/26(火)　浜松楽器博物館	2/20(木)　イチゴ狩り	
	3月　新型コロナウィルスの影響で中止			

毎日の活動	宣伝活動	SNSを使った情報発信の充実をはかりました。また、公演先へのお礼状や大学のキャンパスで開かれた福祉イベントにも参加し、紙風船をアピールしました。
	グッズ活動	今までの種類に加え、各作品のぬり絵や下敷き等、実用的なものを製作しました。公演先でだけでなく、販売場所を広げていくことが必要です。
	夢づくり活動	日中活動の充実。表現練習、発声練習、川柳づくりなど。 また、年度後半では新作づくりに取り組み始めました。
	レク	メンバーの希望を募り、1人2回の参加で年に6回を計画し実施しました。 3月はコロナウィルスの影響で中止となりました。(給料対象外)
	体力づくり	あまり外での運動はできませんでしたが、歩行訓練、室内バスケや輪投げ等、それぞれに合った体力づくりをしました。
	身体のケア	介護予防体操、体幹ストレッチ、マッサージ、足湯など実施しました。
	サークル活動	各曜日サークルに分かれ、それぞれ取り組みたい事を行いました。 年数回の外出もしました。(給料対象外)
	仲間の会	月に1回実施。公演予定確認、各活動報告。時にはメンバー アシスタントを交えテーマを決めての話し合いも行いました。
	夢づくり基金	目的を明確にして随時呼びかけをしてきました。法人会報にも掲載。 人形、小道具の修理。新作の制作費として使用しています。
	イエローレシート	呼びかけは1団体1時間、5人までで参加。2019年度は3回参加しました。 頂いた募金は人形劇、紙風船の活動で必要な物を購入していきます。
	その他	3月に地域ふれあいまつりを計画していましたが、新型コロナウィルス流行により中止となりました。

人員配置

	月	火	水	木	金	土	計
メンバー	2～3	7	9	8	7	8～9	41～43
アシスタント	2	5～6	6	6	4～5	5～7	28～32

その他	メンバー給料:1日150円
	各係の活動は、内容によって役割を決めて取り組み、あまり負担にならないよう振り分けをしてきました。また人形劇での役割にも変化がありましたがメンバーは臨機応変に対応してくれました。 これからも、お互い声をかけあいながら楽しい活動を続けていきたいと思います。

2019年度　紙風船作業会計報告

	内容	合計　(円)
収入	人形劇公演料(有料公演13回)	339,009
	グッズ売り上げ	94,000
	預金利子	5
	小計A(収入)	433,014
支出	メンバー給料	249,100
	メンバー賞与(夏・冬)	40,950
	小計B(支出)	290,050
利益	収入A－支出B	142,964

★　名古屋銀行通帳残高（作業会計）

2019年4/1スタート　532,285円　→　2020年3/31　残高　675,249円

※その他公演時の交通費（ガソリン代・高速代金）は紙風船の小口活動費より支出、
人形劇制作費は「夢づくり」より支出しています。

★　『夢づくり』基金について

2019年4/1～2020年3月末、173,462円の夢づくりの寄付がありました。

人形劇制作費（道具等）55,124　円（アトリエ羅道他）

通帳残高　417,433円＋寄付金173,462円－人形劇制作費55,124円
残高　535,774 円（利子3円）

★　まとめ

・2019年度は、作業会計、夢づくり共に黒字となりました。
・2020年度は新作づくりで経費がかかる予定です。
　さらに夢づくり基金への呼びかけを広げて行きたいと思います。
・2019年度、公演は平均して月一回ありました。
　またグッズ売り上げ収入も多く、2020年度の給与の基準は2019年度同様150円/日とします。

※現在新型コロナウィルスの流行により現在公演予定がほとんどなく、
　今後もどうなっていくかわかりません。公演収入が見込まれない場合、年度の途中でも給与
　についてのご相談をさせていただく場合があることをご了承ください。

2019年度　居宅介護事業所あみ事業報告

● 提供内容:居宅介護(身体介護・家事援助・通院等支援)・重度訪問介護(外出支援含む)
　　移動支援(ガイドヘルプ)

● 実利用者数:29名(+1)　　月平均利用144件(+44)

内訳　居宅介護:20名(メンバー10名・外部10名)
　　重度訪問介護:20名(メンバー16名・外部4名)　※居宅・重訪重複利用者11名(メンバー9名)
　　移動支援:2名(外部2名+1)　通学及び通所時の付き添い

● 具体的内容:居宅介護　生活介護通所前後のケア、入浴介助、通院付き添い、家事援助外出支援
　　重度訪問介護　生活支援、外出支援、医療的ケア、見守り等

● 職員:管理者1名(ヘルパー兼務)、サービス提供責任者1名、生活介護兼務職員11名(非常勤)、
　　登録ヘルパー2名　計15名(内喀痰吸引等資格取得者5名)

● まとめ

- 5月より1名の地域生活支援が始まり、24時間の支援及び医療的ケアの取り組みが始まった
- 喀痰吸引等の事業者登録(5月)を行い、今年度喀痰吸引等研修に3名が受講し資格を取得
- 登録ヘルパー2名を確保して、夕から深夜早朝のケアを充実
- 重度訪問介護移動支援＝127件、名古屋市移動支援＝73件
- 新型コロナウイルス感染拡大のため、2月より外出支援については不要不急は中止
- その他制度を利用できないケースについては、法人の独自サービス(有料)の活用を行った
- 2月特定事業所加算Ⅰを申請、すべての算定条件を満たすよう改善を行った。4月より取得
- 運営規程変更　サービス提供日時　月～日　24時間
- 2018年度収益:8,819,050円　→　2019年度収益:14,953,534円(＋613万)

2019年度行政申請内容

提供サービス		その他該当する体制等		適用開始日
各サービス共通		地域区分	三級地	
介護給付費	居宅介護	特定事業所	**あり**	**R2.4.1**
		福祉・介護職員処遇改善加算対象	あり	H25.4.1
		福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	なし	
		キャリアパス区分	Ⅰ((要件Ⅰ・要件Ⅱの両方)及び職場環境等要件のいずれも満たす)	H27.4.1
	重度訪問介護	特定事業所	**あり**	**R2.4.1**
		福祉・介護職員処遇改善加算対象	あり	H25.4.1
		福祉・介護職員処遇改善特別加算対象	なし	
		キャリアパス区分	Ⅰ((要件Ⅰ・要件Ⅱの両方)及び職場環境等要件のいずれも満たす)	H27.4.1

2019年度 管理部門事業報告

●給食管理(小久保)

事業方針	事業内容
○ 保健指導、衛生管理マニュアルに基づく調理を行う	○ 季節を考慮した食材の発注、献立の作成
○ 汁物の塩分・食事の温度管理・栄養等「健康な食事」を提供する	○ 調理員の検便、食中毒発生防止、感染予防
	○ 食物アレルギー・嚥下障害に関する配慮

●車両管理(竹内)

事業方針	事業内容
○ 安全に車両が運行できるよう、故障等を起こす前に整備・点検を行う	○ ドライバーによる洗車、車内清掃を随時実施
	○ 6ヶ月ごとのオイル交換の実施
	○ 車検や点検を(株)メカノスに依頼、修理も同様
	○ (株)メカノスにて、12か月点検と同時にリフトの清掃・点検も実施

●防火防災管理(佐藤)

事業方針	事業内容
○ 防災訓練の実施	○ 1月24日「いのちを守る福祉施設火災の初期対応」DVD視聴。港消防署総務課職員による講話(訓練)
○ 火災予防上の自主点検実施	○ 3月8日真栄マンション避難訓練に参加予定だったが、コロナウイルス感染症の影響により不実施となった

●会報担当(小久保)

事業方針	事業内容
○ 見やすい会報つくり	○ 年3回の会報発刊(7月・11月・3月)。校正を決め、各担当への原稿依頼
	○ 全体の編集、校正確認、入稿、発送準備等
	○ 会報を通して「愛実の会」を発信していき、寄付者を募っていく。 そのために既存の会報の形の捉われず、活動のテーマや目的などをわかりやすく発信できるものにしていく。

●HP担当(戸田)

事業方針	事業内容
○ 法人HPの完全リニューアル	○ 6月～12月半年かけて完成　SNSとリンク
	○ ホーム、法人概況、活動紹介、求人募集、お知らせ 会報・会計報告・イベント等最新情報を随時更新
	○ その他、寄付金・ボランティア募集を追加
	○ 愛実の会の見える化と情報発信に努めた